【重点目標】 自ら考え、学び、成長する、いきいきとした子ども 学校だより



令和7年度 第5号 令和7年9月19日

「学び続けるカ」と「つながるカ」

校長 佐藤純 一

先日、北海道教育大学教育学部旭川校2年生の学生さん13名が、担当教授と共に小規模校 実習に来られ、挨拶をさせていただきました。教職員研修や会議等で大人に話すことは多いの ですが、学生さんに話すのはしばらくぶり。せっかくだから、少しでも記憶に残るような話に と、伝えたいことをよく考えて原稿作りに取りかかりました。

原稿は第1稿から、かなりの出来で立派な内容。それもそのはず、この第1稿は生成AIに「教員養成系大学の学生に、こんなテーマで挨拶をすることになったので、400字程度で作成して」のようなプロンプトをいくつか組み合わせて指示し、ものの30秒で出てきたもの。ものすごく便利!生成AIの性能の高さを実感!。でも、間違いなく、100%、自分の考えではありません。

身の回りの技術は、この紙面で改めて言うまでもなく、日々、加速度的なスピードで進化を続けています。既に生成AIをはじめとする先端技術は、私たちの生活に、望む・望まないにかかわらず、いろいろなかたちで入っており、正しく、そして上手に使う段階に移行していると言われています。時代はめまぐるしく変わり続け、それに伴い、身に付けることが望ましい力も変わるため、変化の時代を生きる人々には、生涯にわたり「学び続ける力」が必須となっています。だからというか、学生さんたちへの話の中心は、教育の場はもちろんのこと、人が生きていく上で大切にしたいこと、不易である「つながる力」の話にしました。仲間内で盛り上がるだけでなく、自分とは異質の人、未知の人、初対面に近い人と、普通に関係をつくり、普通に行動することが大切だと思います。多様性の集まりである学校では、これを土台の一つとして教育活動を進めているんですよ、と。 ※5なみに、生成AIの原稿は内容を糖して一部時、時息、効率的、便利。

さて、「自ら考え、学び、成長する、いきいきとした子ども」を目指し、家庭・地域の皆さんと共に進めている教育活動も、早いもので折り返しを迎えます。つい先日は、北海道教育庁上川教育局による経営指導訪問の折に、一学期に実施した学校評価(中

【学習指導】

- ・考えや意見を交流する場の設定
- ・外部機関や他校等との交流の場の活用 他

【生徒指導】

- 包括的性教育の推進
- ・いじめ防止、情報モラル教育の充実 他

問評価)にお寄せいただいた保護者の皆さんの記述や評価、職員会議での検討を基に、残りの期間の方向性や取組の具体について説明・協議したところです。「学び続ける力」と「つながる力」は、二項対立ではなく、どちらもバランスよく子どもたちに必要な力です。こんなことも念頭に、これからも、子どもたちの学校生活を安心してみていただけるよう、まずは来月の学芸会に向け、教職員一同、力を尽くしていきたいと思います。

学芸会まで・・

 $(\Box$ 時〕10月18日(土) 9:00~11:40(開場8:30) 場〕雨紛小学校 体育館

2学期が始まったと思ったら、あっという間に学芸会まで残り30日となりました。今年度も、主なプロ グラムは「音楽」「伝承芸能(雨紛子囃子)」「地域発表」「劇」を予定しています。是非、多くの方の観覧と 参加をお願いします。

~*地域と共に*~ 運動会に引き続き、皆様と-緒に学芸会を創り上げることが本校の願いです。

… 地域の方または団体でステージ発表をしてくださる方。*15分程度 1. 地域発表 【例 舞踏・お囃子・音楽演奏など】

2. 地域展示 … 地域の方で、作品などを展示していただける方

【例 手芸・工芸・絵画・お花など】

■原則、演目の合間は暗転します。



- ■出演準備、道具の搬出入は各自でお願いします。(更衣室等が必要な場合は教えてください。)
- ■出演していただける方は10月2日(木)までに雨紛小教頭へ連絡ください。 ℡ 61-6817



(土)

(月)

18日

20日 21日 (火) 学芸会

振替休業

後片付け 諸費納入日 教育相談週間



合同宿泊研修に 行ってきました!

1日目は植松電気でのロケット製作、

2日目は滝川B&Gでのカヌー体験、それ以外にも盛 りだくさんの研修。『友達と一緒にカヌーに乗った ことが、一番の思い出です。』とのこと。来年の修 学旅行に向けて、充実した研修になったようです。

雨紛神社祭に参加しました

8月31日(日)に雨紛神社祭が開催され、演目の -つとして、本校児童による「雨紛子囃子」を披露 させていただきました。夏休みが明けて間もなかっ たこともあり、始まる前はほとんどの児童が緊張し ていました。「緊張を乗り越えることも練習の一つ」 という指示のもと、今できる精一杯の演奏を披露す ることができました。

「詩吟」や「巫女舞」等の演目もあり、日常から 少し離れた厳かな時間と空間を味わいました。今後 は、学芸会の本番に向け、指導していただく保存会、 応援していただいている保護者・地域の方々への感 謝の気持ちを忘れず、練習を積み重ねていきます。



